

明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会 第1回 里地里山保全利活用専門部会
議事要旨

- 1 開催日時：平成27年7月17日（金）午後2時00分～午後4時00分
- 2 開催場所：明治大学黒川農場 1階 会議室
- 3 出席者：[座長]三谷教授
[専門部会委員] 野島委員、市川委員、越畑委員、深澤委員、永江委員
古山委員、久延委員、白石委員、山中委員、高橋委員
（欠席）梶委員
（代理出席）伊藤委員、安藤委員
[事務局] 川崎市みどりの協働推進課 蛭田課長、池田係長、山口主任
コンサルタント（(株)URリンケージ 正司主幹、遠藤副課長、古山主任）

4 議 事：

（1）「農と環境を活かしたまちづくり」について

- ・「農と環境を活かしたまちづくり」の基本的事項、平成26年度の試行的取り組み事項（全体）、平成26年度の試行的取り組み事項（専門部会）、実施計画の作成に向けた今年度の取り組み、今後の予定について、事務局より説明。

（2）今年度の主な取り組み内容（案）について

《主な意見》

①里地里山の体験・利活用（里山体験ツアー等）

- ・今年の里山体験ツアーは、黒川地域内をめぐるコースで実施を予定している。（事務局）
- ・昨年度と同様に工作をする場合、参加者の子供の数を増やしたいなら、工作の指導者も必要となる。地区の子供会と連携し、中学生くらいの子に事前に勉強会などを開いてやり方を教えて、大きい子供が小さい子供に指導するというやり方で今年度は実施したら良いと思う。
- ・工作では、竹を活用して、竹行燈を作って、汁守神社の参道に設置してみてもどうか。

②里地里山の保全管理（里山保全活動体験等）

- ・学生に笹刈りをやらせてみたら、達成感が得られて楽しいという反応があった。里山の保全活動として、笹を刈ることも考えてみてはどうか。
- ・黒川地区に市民ボランティアを入れるのも必要だと思うが、場所を限定せず活動してもらえると良いと思う。まずは埋もれている散策路をきれいにするのもよい。

③その他（地域活性化検討専門部会との連携の取り組み等）

a. サインについて

- ・農業用倉庫の前にあるサインがシンプルすぎてわかりにくいので、もっと初めて来た人にもわかりやすいサインが必要だと思う。
- ・黒川地区のみのマップを作成し、そのマップを駅やセサモスに置いても良いと思う。

b. 里山アートについて

- ・里山アートでは、竹を活用した大きな造形物などがあると面白いのではないかな。
- ・里山アートはイベントの期間だけ試験的に設置するようなことを考えており、ウォーキングイベントのポイントなどに設置し、歩きながら見ていただければ良いと考えている。

c. その他

- ・この地域に来た人が黒川駅や若葉台駅まで行く途中で、お茶を飲んで軽く食事をとれる場所がない。ファミレスなどではなく、軽く立ち寄れる場所がほしい。

(3) まとめ

- ・1つは、昨年度と同様に里山体験ツアーを実施する。子供会と連携するなどやり方については後日ご相談させていただく。(事務局)
- ・2つ目は、秋以降、実施日は未定だが、笹刈り等の里山保全活動体験を行う。イベントとしては、その2つを実施し、次につながれば良いと思う。(事務局)
- ・11月に竹行燈を作って、汁守神社の初詣の夜に階段に設置したり、どんど焼きのときに、飾って、最後一緒に燃やしてしまうのも片づけが楽で良いと思う。
みんなで作って並べるのであれば、青い竹のほうがステキだが、夜に使うので、青竹でなくとも良い。
- ・あまり一度にいろいろイベントを盛り込むとやりきれなくなるので調整したほうが良い。

(4) 今後の予定

- ・本日の専門部会での意見交換の内容は、8月4日(火)に実施する協議会で報告させていただく。(事務局)
- ・協議会で議論した内容については、地元の方との意見交換会の場で報告させていただく。(事務局)

以上